



「研修便り」は、高知市立学校教職員研修の成果・内容の共有、教育研究所から発信する情報の周知を目的として、発行しています。

外国語活動・外国語研修会

令和6年6月25日(火)実施

「楽しい英語を目指した授業づくり:資質・能力を育成する言語活動を目指して」
講師: 国際教養大学 専門職大学院 町田 智久 教授



英語の授業は楽しいものです!思い込みを捨て、発想を変えましょう!いつか使える英語ではなく今使える英語を!

【小学校教員の思い込み】

- 英語の教科書は,端から端まで全てカバーしなくてはならない
- ★ 授業の最初はまずスモールトークをする
- ▲ ターゲットフレーズを指導することが授業のゴール
- 正しい英語を話さないと今後の英語の学習に影響する
- ◆ 慣れ親しませるまで書く活動は待つ

☆ **スモールトークでスキーマを活性化させる!**
【会話の概要をつかみ, unitの活動の準備ができる】
※ スキーマ = 既習事項・経験 (schema) 背景知識

【発想を変えよう】

- 素材として掲載しているので全部やろうとしなくてもよい
 - ☆ 必ずでなくてよいがやるとよい効果がある
 - △ あくまで例なので必ずでなくてもよい
 - 相手に通じればよいので間違っ
 - ていてもあまり気にしなくてもよい
 - ◇ 書けるなら最初から書いてもよい
- いずれも,学習指導要領で定められた内容を学習できるようにすることが重要!

【ボトムアップ】

- ▶ 音→単語→文→会話 (一つ一つ確実にできてから進む)

子どもの処理も教師の指導も

ボトムアップ から

トップダウン へ

【トップダウン】

- ▶ スモールトークで場面理解から (全体をざっくり理解させて徐々に細かい内容へ)

MERRIER Approach

(より楽しい アプローチ)

Model
Example
Redundancy
Repetition
Interaction
Expansion
Reward

日本の現場向けに考えられた取組

A B C

M

Model

happy!

- 【身振りや表情, 実物や視聴覚教材を活用して説明】
- ▶ 口頭説明だけではなく, 五感全てを使った情報提供

E

Example

【具体例を出す】

- A 具体例の列挙 T: I like fruits
- B 抽象から具体へ for example
- C エピソード bananas,
- D 対照例の提示 apples, peaches and cherries ...

R

Redundancy

【多様な発想による説明】

- ▶ 簡単な言葉に言い換える
- ▶ 一方からだけではなく, 別方向からの説明も試みる

What TV program do you watch the most?

▼

What is your favorite TV program?

▼

What is the best program on TV?



R

Repetition

【繰り返し】

- ▶ 必要と思う表現や内容は, 意図的に繰り返す

I

Interaction

【子どもたちとの英語によるやり取り】

- ▶ 完全な文や発音で発話を求めない
- ① 子どもが聞いていればOK!
- ② 子どもが理解していることが体の動きで分ればOK!
- ③ 教師の問いに短く応えられればOK!
T: Do you like apples? S: Yes.
- ④ 教師の問いに長く応えられる!

E

Expansion

- 【子どもの発話を上手に修復したり拡張してフォロー】
- ▶ 不安のない教室環境づくり
- S: I goed to Ginza yesterday.
- T: Oh, you went to Ginza.
- S: Yes. I went to Ginza.

R

Reward

【称賛・励まし】

- ▶ 子どもの発話や返答に常に適切な励ましをする
- Nice! Perfect! Good job!
Excellent! Amazing!
Cool!

上達の秘訣

- ① 短く, 簡単に, 繰り返す
- ② よく出る表現を積極的に授業に取り入れる
- ③ とにかく英語で切り返す

- 間違えたと言える先生の姿が大事
- 正確さは求めすぎず, 流暢さを大切に
- 自分のメッセージを相手に伝えるのがゴール

【受講者の感想】

- ・ どうしても日本語での説明が多くなるが, できるだけ簡単な英語にしたり, ジェスチャーを使ったりすることで日本語が減り, 英語を聞く量が増えるということを実感した。早速実践したい。
- ・ 「日本語で6年生に話す内容を1年生に話すと考えたら…」と考えると外国語の授業への抵抗感が少なくなった。
- ・ 小学校教員の思い込み=自分の悩みに近いものがあつた。それを解決するための手法が, 「MERRIERアプローチ」であり, これを繰り返す行うことで創造性のある外国語の授業ができると感じた。

【講義】「子供の動機付け、行動変容、そして自己実現を目指す健康教育」

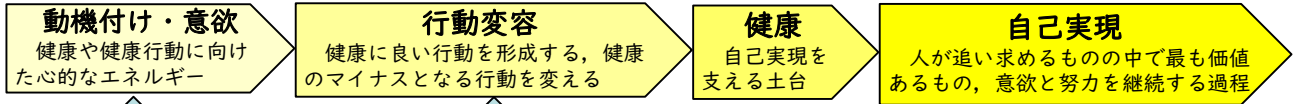
講師：埼玉大学教育学部 教育学部長 戸部 秀之 教授



行動科学を生かした健康教育

健康教育は、自己実現のための土台づくり

体育・保健体育などの各教科等だけではなく、学校教育全体を通して実施する



科学的知見を活用

理論・考え方・技法を生かす

太陽図

やる気と実践を促す環境と支援

※ 講師資料より抜粋

大人がどのような環境を整えるか、どのような環境になっていくかが重要

健康行動へのやる気を高めるアプローチ (心の中の変容)

バルーン図

※ 講師資料より抜粋

「なるほど」と腑に落ちる理解を引き出し、心の中の変容を引き起こすことが大切

建設的な価値観の育成

ヘルスプロモーションの理念に基づく環境づくり

成功経験の蓄積 (有能感を育む)

自律性の支援 (自己決定感を高める)

援助的・受容的な人間関係の促進

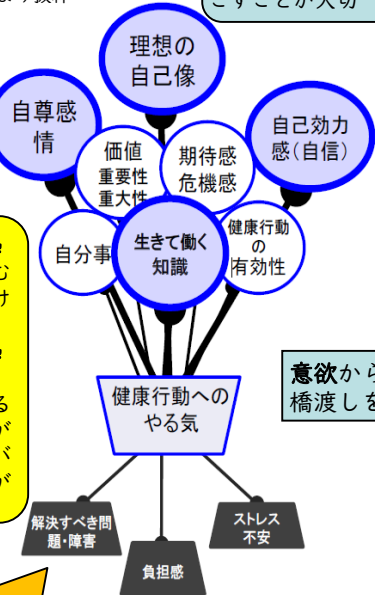
継続と定着に向けたアプローチ (行動化)

PDCAサイクル図

※ 講師資料より抜粋

理解だけでは、行動は変わらないので、行動変容技法を活用

結果期待感 (自分が望む結果に近づける(見通し))
自己効力感 (「できそう」と感じるこの2点が高まると、バルーン全体が膨らむ)



意欲から行動実践への橋渡しをする意思決定



重り (意欲を低下させる要素) が大きいとバルーンが下がる

例えば・・・

バルーンを膨らませるための指導法

- 言葉で強調する
- なるほどと思える説明をする
- 見えないもの(こと)を見える化する
- 体験(五感を通して感じ取る)
- 身近な事例から考える(保健室は事例の宝庫)
- ディスカッションから考える
- 自分たちのデータから考える

ポイント 子どもたちの「なるほど!」を引き出す

モデリング: スキルの獲得, 成功の疑似体験 (例) 「歯がブラシは歯ぐきに軽く当てるといいよ」

行動リハーサル: ロールプレイによる成功体験 ⇒ できそう! (自己効力感アップ) (例) A 「たばこ吸ってみない?」 B 「吸わない!ばくは、たばこの煙が嫌いです」

セルフワークの活用: プラスのセルフワーク名人になる (例) 「めんどうだなあ」(マイナス) ⇒ 「早くやっつけてしまおう」(プラス)

教化自己強化: がんばった自分にほめ言葉やプラスの言葉をフィードバック, 自分へのご褒美

サポートの活用: 必要なサポートを依頼 依頼内容を上手に伝えるには (例) ~のために(理由) ~してほしい(内容) そうすると~できる(結果) ※ 表情, 身振りも合わせて伝える

上手なふり返し: 「工夫や努力によってできたこと」に焦点化して振り返らせ、次への意欲につなげる

【受講者の感想】

- 行動科学を生かした健康教育を進めていく上で、児童自らが進んで意思決定ができる機会を増やしていけるようにしたい。
- バルーン図のバルーンを膨らませて重りを軽くしていくという説明が分かりやすく納得した。目標は、人に言われて設定するより、自分で決めた方が頑張れるので、自分事として捉えられるような取組をしていきたい。また、重りを軽くするために養護教諭としてできることをやっていきたい。